

検査
1

唾液の分泌量を調べます

- ①イスに座ってリラックスした状態で、味のついていないガムを噛みます。
- ②唾液が出てきたら、容器に集めます。
- ③5分間で出た唾液の量を計ります。



むし歯の要因

個人的要因

- ・忙しくて歯を磨く時間がない
- ・古い銀歯が入っている
- ・唾液の分泌が少ない

細菌

- ・ミュータンス菌
- ・ラクトバチルス菌



- ・甘いものが好き
- ・炭酸飲料をよく飲む

- ・間食が多い
- ・だらだら食いをしてしまう

食事

時間（食事の頻度）

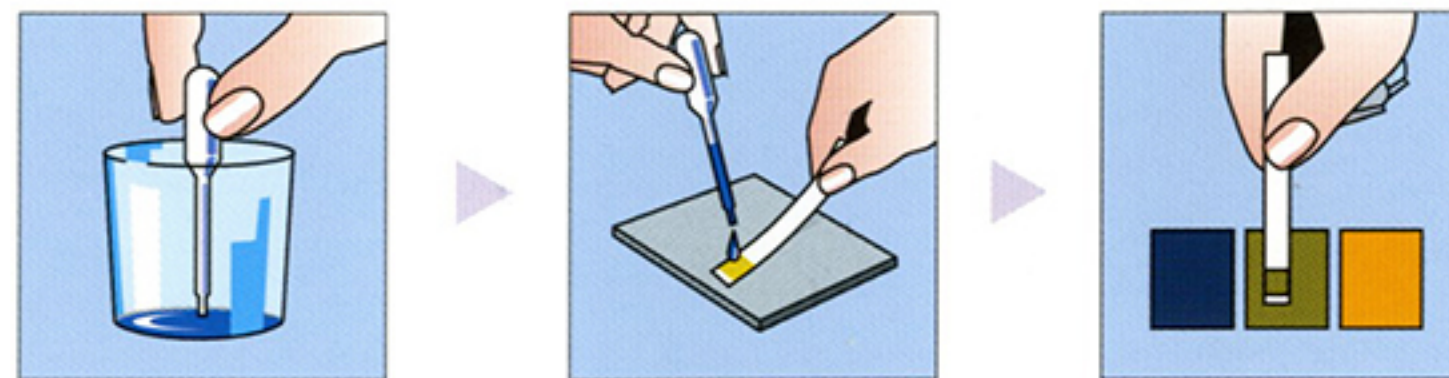
唾液のはたらき

- ・口の中の細菌や食べカスを洗い流します。
- ・抗菌作用があります。
- ・歯の表面を守り、歯を強くします。
- ・緩衝作用があります。

検査
2

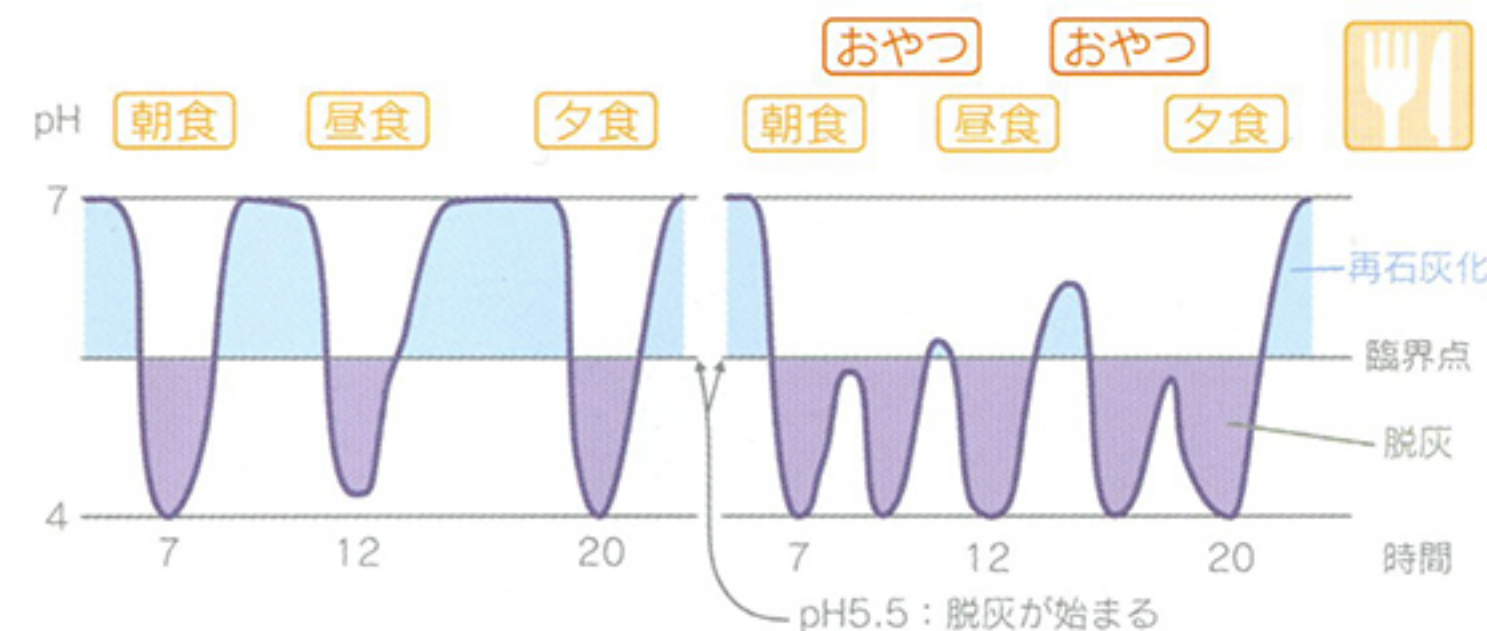
唾液の抵抗力を調べます

- ①検査1で集めた唾液を検査用紙に垂らします。
- ②5分後に検査用紙が何色に変わったかを調べます。



唾液の緩衝能

ステファンカーブ



緩衝能とは？ - 酸を中和する力

安静時、人の口の中は中性です。

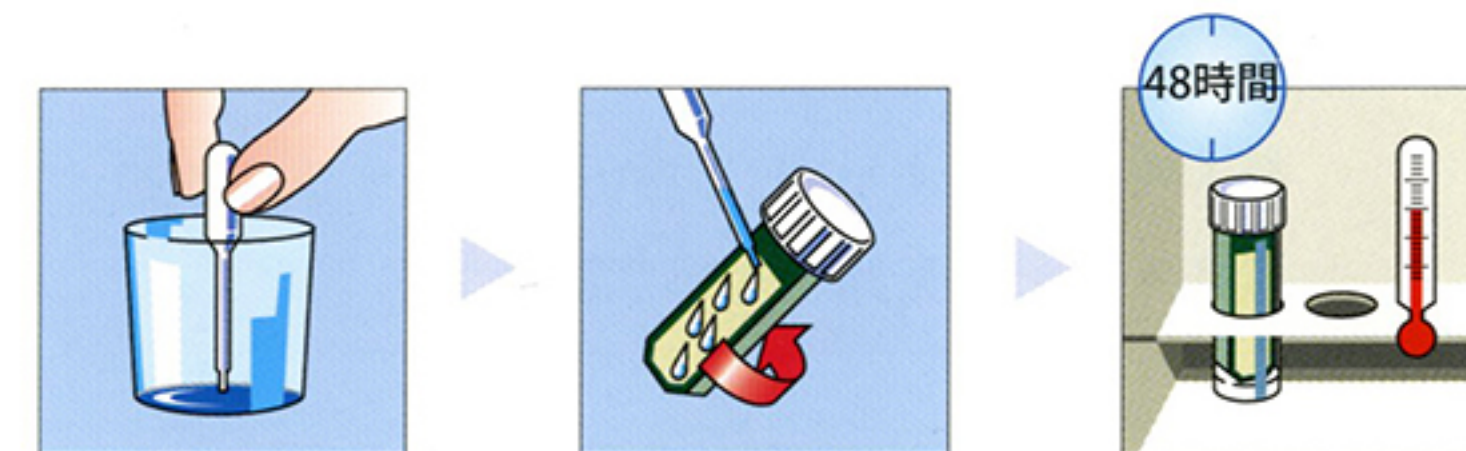
糖を含んだ食事をすると、一時的に口の中は酸性に傾きます。その後、唾液が口の中を中性に戻そうと働きますが、中性に戻す力が弱いと酸性の状態が長く続くことになり、むし歯になりやすいのです。食後、酸が歯を攻撃します。唾液が分泌され、緩衝能が働くことにより、酸が中和されます。

間食が多かったり、アメ、飲み物などを長時間ダラダラと飲食していると、緩衝能が十分に働く前に酸が産生され、お口の中が常に酸性に傾いた状態（むし歯になりやすい状態）になってしまいます。

検査
3

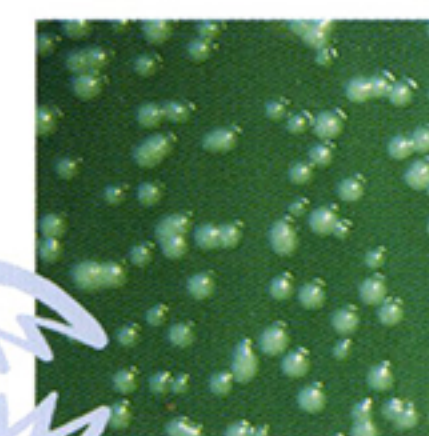
むし歯菌の数を調べます

- ①検査1で集めた唾液を専用の培地に垂らして37℃で2日間培養します。
- ②2日後に菌の数をチェックします。



むし歯の原因菌

ラクトバチルス菌



むし歯の進行

ミュータンス菌



むし歯のきっかけ



ラクトバチルス菌

むし歯を進行させる菌です。

きれいに歯磨きができていなかったり、歯に合わない古い修復物（銀歯、さし歯など）が入っていると増殖します。

砂糖の摂取量とも関係があります。

ミュータンス菌

むし歯のきっかけを作ります。

多くの人が赤ちゃんの頃、お母さんから感染します。